



コロナ禍の子どもの孤立を防ぐため 市民活動団体と連携したフードドライブを実施します

大府市は、コロナ禍による経済への影響で困窮する子どもやひとり親を支援するため、子育て支援サークル「あそびのいっぽ」と連携したフードドライブを実施します。

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設に寄付する活動のことです。実施にあたり、国の「地域子供の未来応援交付金」を活用して、「あそびのいっぽ」の活動支援を強化するとともに、活動拠点となる旧消防署共長出張所の空きスペースを無償貸与し、支援の拡充を図ります。

フードドライブに取り組むことで、子どもたちやひとり親への地域の支援の輪がさらに広がり、学習支援や子育て相談など、子どもたちへのさまざまな支援につながることを期待しています。

■「地域子供の未来応援交付金」の概要

多様かつ複合的な困難を抱える子どもたちに対し、ニーズに応じた支援を適切に行うための取り組みを支援する国の交付金で、コロナ禍の緊急支援事業として、「つながりの場づくり緊急支援事業（補助率 3/4）」が拡充されました。

※現在、国に交付金申請予定であり、採択され次第、事業運営が可能になります。

■フードドライブ事業の概要

事業費／1,000 千円（委託費）

スケジュール／令和3年7月頃から開始予定

活動場所／旧消防署共長出張所の空きスペース

（市から子育て支援サークル「あそびのいっぽ」へ無償貸与）

その他／事業に必要な予算案を6月議会に上程します。

【問い合わせ先】

大府市子ども未来課

担当：久野倫太郎（クノ リンタロウ）、野村昭二（ノムラ ショウジ）

電話：0562-45-6229 FAX：0562-47-2888 メール：kodomo@city.obu.lg.jp